

報道機関各位

平成20年2月20日
東北大学大学院理学研究科

国際リニアコライダー研究に関する国際会議および一般向け講演会実施のお知らせ

宇宙の起源は何か？我々はどこから来たのか？そして、我々はどこへ行くのか？このような根源的な謎に迫るため、世界の研究者が協力して研究を進めている次世代の巨大加速器（素粒子物理学の実験装置）「国際リニアコライダー（ILC）」。全長約30キロメートルのこの装置は、電子とその反粒子を超高エネルギーで正面衝突させ、宇宙の誕生、いわゆるビッグバン、の直後の状態を地球上に再現するものです。

来る3月3日（月）～6日（木）、仙台国際センターにて、東北 ILC 国際会議 TILC08（国際リニアコライダーACFA・GDE 合同会議）が実施され、ILC 計画に関わる科学者達が世界中から集まります。東北大学理事の庄子哲雄教授と元文部科学大臣の河村建夫議員の開会の辞によって始まるこの会議は、科学者達が、ILC 計画を概念設計から次の段階へと押し進めるために、加速器技術と測定器技術、そして物理理論の面から議論し発展させる事を目的としています。

また、素粒子物理や宇宙・天文学をはじめとする基礎科学の重要性を広く一般の皆様にご理解いただくために、下記の日程にて特別講演会を実施いたしますのでお知らせします。

開催概要

- 名称 特別講演会「素粒子、宇宙、と日本／アジアの未来」
- 講演者 ノーベル物理学賞受賞者 小柴昌俊 東京大学名誉教授
名古屋大学教授 杉山直
カリフォルニア大学バークレー校教授 村山斉
- 日時 平成20年3月4日（火）
- 開催時間 午後6時15分～午後7時45分
- 会場 仙台国際センター 萩ホール
- 入場料 無料
- 内容 小柴先生はこれからの日本とアジアにとっての基礎科学と科学教育の重要性について、杉山先生は宇宙論と天文学の現状と展望について、そして村山先生には素粒子物理学の現状とその将来についてそれぞれ専門的知識を持たない方にもわかりやすいかたちでお話しされます。
- 共催 東北大学大学院理学研究科

- 問い合わせ先 東北大学大学院理学研究科 教授 山本 均
tel: 022 795 6724 E-mail: yhitoshi@awa.tohoku.ac.jp